

平成 28 年 10 月の園だより



健康診断

6日(木) 内科・眼科…全園児
耳鼻科 …幼児組

13日(木) 耳鼻科 …乳児組

内科、耳鼻咽喉科、眼科の健康診断があります。気になることや園医にたずねたい事などありましたら、事前に担任までお知らせください。

みみようフェスティバルのお知らせ

今年の作品展は、子どもたちが「おもしろい!」「やってみたい!」と興味をもって意欲的に取り組んできたものを展示します。乳児組のテーマは“たのしいもの、みつけた!” 幼児組のテーマは“わくわくいっぱい☆あそびのひろば”です。楽しい展示になるように計画しています。どうぞ第二みみよう保育園5階ホールに遊びに来てくださいね。

物品販売やみみよう特製のおいしい食べ物もたくさん用意しています。ご家族おそろいでお楽しみください。また保護者の皆様には売り場のお手伝いをしていただきたいと思います。どうぞご協力のほど、よろしく願いいたします。

日時 10月22日(土)
10:00~14:00
場所 第二みみよう保育園



消さないで

あなたの心の

注意の火



広島市南消防署

警防課 救助係

「親子で一緒に絵本を楽しもう」

今年は大形の台風が次々にやって来て全国各地で甚大な被害が出ています。先日は、交通安全運動週間の一環として、年長児の子どもたちと地元町内の老人会の皆様、南警察署との3者で園の前を通行する運転手さんに交通安全のマスコット、チラシを手渡す交通安全運動を行う予定でしたが、台風16号の接近が予測されたため中止となりました。子どもたちの安全教室については、また計画したいと考えています。

さて、9月10日(土)の保育参観にはたくさんの保護者の皆様にお越しいただき、日頃の子どもたちの様子を見ていただきました。子どもたちも大好きな家族に見守られいつも以上にたくさんの笑顔がありました。また、6月の運動会では0・1歳児クラスの参加種目をなくし、その代わりとしてホールでミニ運動会を行いました。0・1歳合同ということでもたくさんの保護者の皆様で会場内は一杯となりましたが、とても楽しい時間になったのではないかと思います。引き続き、園生活の見える化や保護者参加型の楽しい内容となるよう工夫を重ねてまいりたいと思います。

続いての講演会では、広島市こども図書館・家庭読書アドバイザーの辰上加代子さんから、「親子で一緒に楽しもう 絵本の世界」と題しましてご講演いただきました。

講演ではたくさんの絵本を実際に手にとってご紹介いただきながら、絵本を介してゆったりと子どもと向き合う時間をもつことが大切であり、子どもの成長に絵本がどう作用するかをお話いただきました。具体的には、◇言語の獲得◇知識の獲得◇想像力を養う◇間接的体験をする(私見では、人間の成長に関わる体験、例えば遊んだりお手伝いをしたりといった生活体験=直接体験が重要と考えますが、勉強、読書、テレビ視聴といった間接体験が生活の大部分を占める現代社会においては、バランスが大切であると考えます。)

◇感性を豊かにするということが考えられるとのことです。

では、どんな本を選んだらよいのか。辰上さんは、低年齢児には大好きな絵本を繰り返し読むことが大切であり、年齢が上がるにつれ◇言葉がきれい◇絵が文に合っている◇主人公に共感し同化できる◇ハッピーエンドの結末が約束されている◇子どもの発達段階や年齢に合っている◇長い間読み継がれている◇図書館が発行したリストに載っているのがよい絵本でないかという一例を示されました。私見では、読み手がその絵本が好きかどうか、読んでみたいかどうかだと思います。

極端かもしれませんが、読み聞かせは、子どもが絵本に興味を示し始めてからではなく、お腹の中にいる時から「語りかけ」をスタートするのが理想だと思います。また、読み方は、サラッと早口で読んであげるのではなく、絵本の登場人物と同じ仕草をしてみたり、想像する楽しさ、ワクワクしながら話の続きを待ちこがれる楽しさをしっかり味あうようにしてあげることが大切です。年齢が上がってくれば、「おおかみはどんな格好をしていたの?」「なんて言っていたの?」「子やぎは何匹いたの?」「どんなお話だった?」と問いかけてやることも時には必要だと考えます。この様に心の対話、キャッチボールをしながら読んであげると、「語彙力」「読みとる力」「話す力」は自然と身についていきます。また、「書く力」も文字に興味を覚えれば次第に覚えていきますが、特に「人の話を聞く力」が育つということが最も大切なことです。聞く力が育つということは、就学後の成長に大きく影響してきます。

秋の夜長に、お父さん、お母さんの膝のぬくもりを感じながら、大好きな絵本を読んでもらう。こんな素敵な時間はないかと思います。親子で一緒に絵本の読み聞かせをぜひ楽しんでください。

子育て応援コラム

ゆれながら
前へ進まず
お前がくれた
木馬の時間
子育ては

歌人 俵 万智
歌集「プーさんの鼻」より



子育ては、うまくいくことばかりではないですね。でもうまくいかない時も子どもはちゃんと育っているのです。

秋の夜長、少しの時間、絵本の読み聞かせを通じて親子の触れ合いの時間を持ってみませんか?きっとほかほか心が温まり落ち着くことでしょう。



しし舞い

今を去ること約400年前仁保島村一帯に悪病がはびこり、村人が悪霊を追い払うために獅子を作り、一軒一軒まわったといわれから、秋祭りの頃に行われるようになったといわれています。

当園にも12日(水)に町内の皆さんと仁保姫神社の獅子がやってきます。